

PortaSound PSS-160

プレイガイド
(取扱説明書)

YAMAHA

ヤマハポータサウンドをお買い上げいただき、 ありがとうございました。

このガイドブックは、やさしい曲を演奏しながらポータサウンドをマスターできるようにつくりました。ぜひ、ご一読ください。
また、あとで演奏を楽しんでいるときに、もしアレ?と思うようなことがあったら、もう1度読みなおしてみてください。

もくじ

	ページ
ポータサウンド早わかり	1
ポータサウンド一覧	3
オーケストラ	4
リズム	5
オートベースコード	6
・オートベースコードを使いこなそう	7
・オートベースコードのまとめ	8
・オートベースコード早見表	9
メロディーメモリー	10
楽譜の読みかた	12
Let' Play	
・想い出の渚	13
・ドレミのうた	14
・碧い瞳のエリス	15
・恋におちて	16
故障と誤りやすい現象	17
仕様	18
アフターサービスと保証	19

取扱上の注意

- ①極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。
- ②特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- ③過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。
- ④本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よごれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。
- ⑤ご使用後は必ずパワースイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間使わないときは、電源を本体からぬいておいてください。電源アダプターも、使わないときは、プラグをぬいておいてください。

ポータサウンド早わかり

まずは、ポータサウンドのアウトラインをつかもう。く

1. まずは電源のしたく

電池?それともコンセント?

●電池を使うなら…

ポータサウンドをウラ返してケースのフタをあけ、単2乾電池を6コ入れる。⊕と⊖の方向に注意!



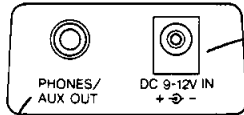
●コンセントを使うなら…

コンセントから電源をとるには、別売のアダプター(PA-1)が必要。このアダプターを背面の付属端子(DC9-12V IN)につなげば、OK。



(PA-1)以外は使わないで!
(PA-1)は別売付属品
¥1,000

付属端子



こちらは電源アダプター(PA-1)をつなぐ端子。

こちらはヘッドホンやオーディオにつなぐときに使う。

●ヘッドホンを使うときは

ヘッドホンを使えば、夜中の気まぐれプレイもミツ練習も自由。付属端子の[PHONES/AUX. OUT]にヘッドホンのプラグを差し込んで、ドーン。

●もっと大きな音で迫カプレイ

オーディオ接続コードで[PHONES/AUX. OUT]からオーディオなどのLINE INにつなぐと演奏の迫カ倍増、もっとオモシロクなる!

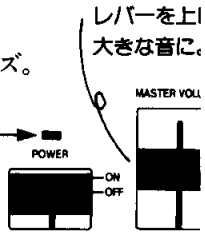
2. とにかく音をだそう(4)

●パワーON。

●マスターボリュームを上げる。

これで鍵盤を押せば、音がでるハズ。

ONするとこのランプが点灯。もし、暗くなっていたら注意。これは電池がなくなりそうのシルシ。6コとも新しい電池と交換して。



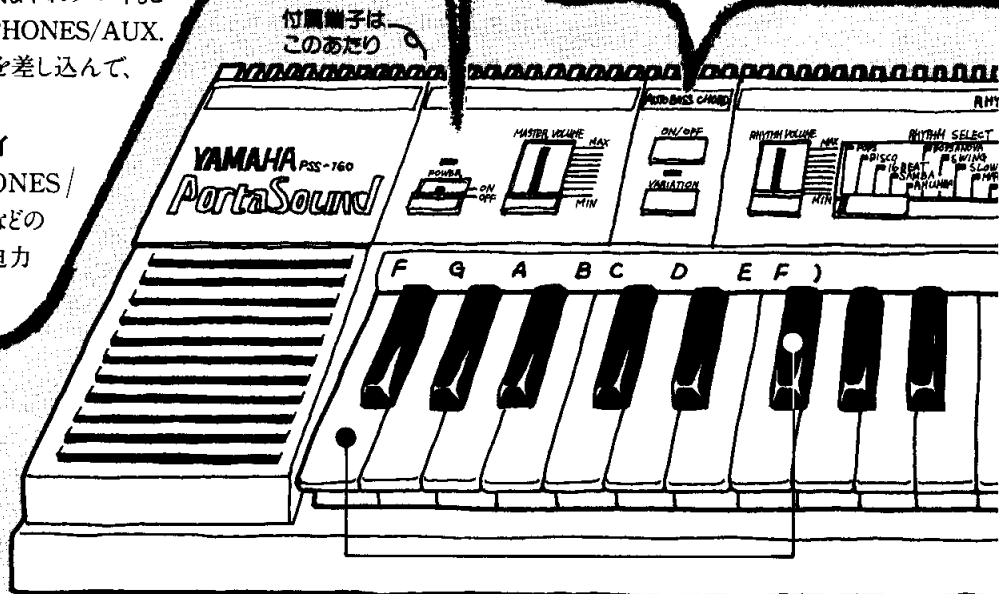
オートベースコード

4. 自動伴奏にトライ

(6~9ペー

●ON/OFFスイッチを押す。
リズムを鳴らして下のオートベースコードを押さえてみて。伴奏が鳴りだしたでしようをシンクロスタートにしてオートベースコード鍵盤を押せば伴奏とリズムがいっしょにス

このボタンを押すと伴奏のパターンが変わるヨ。



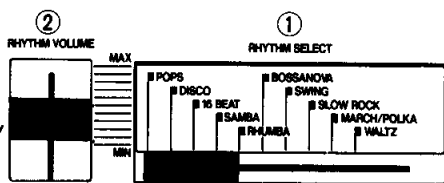
ここが自動伴奏をする鍵盤だ!
(オートベースコード用鍵盤)

た
鍵

くは()のページをみてネ。

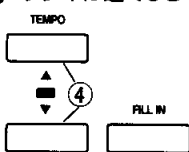
3. リズムを鳴らそう (5ページ)

- ①リズムを選ぶ。
 - ②リズムボリュームを上げる。
 - ③スタート/ストップの赤いボタンを押す。
 - ④そこでテンポを調節。
- とりあえずリズムが鳴りだす。



レバーを上げるほど大きな音に。

こちらを押せばテンポが速くなる



こちらはテンポが遅くなる。

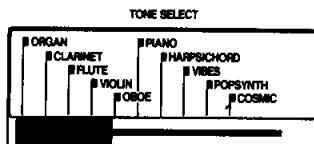


これはリズムスタンバイのボタン。押ただけではリズムは鳴らずにテンポランプが点滅。そこで、下のオートベースコード用鍵盤を押してみてください。ホラ、リズムが鳴りだした!

このボタンを押すと、その小節だけリズムがカッコよくなる。

5. 音色を変えよう (4ページ)

- メロディー演奏の音色を選ぶ。



カチツというまでしっかり動かして。

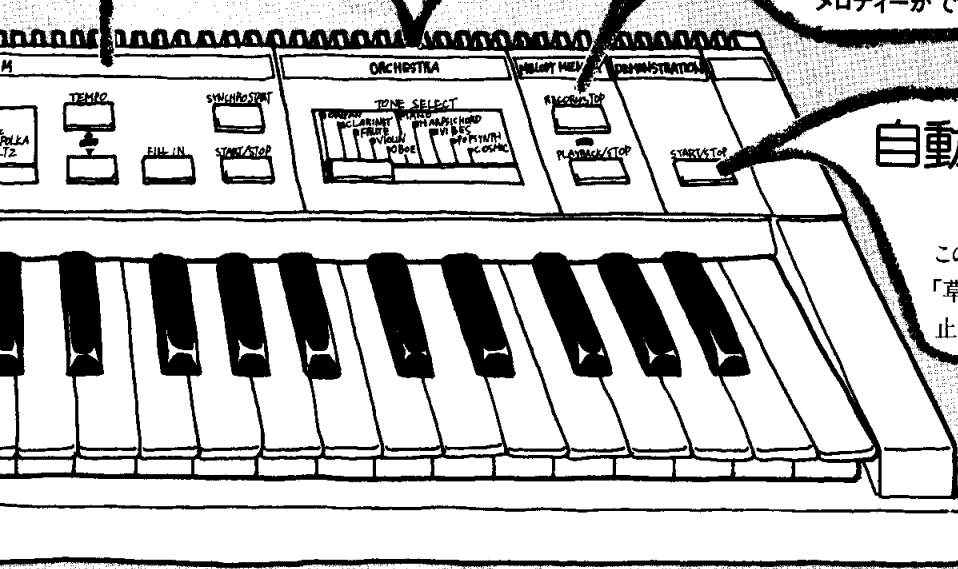
6. メロディー演奏を録音しよう (10~11ページ)

- ①音色を選んでリズムをセット。
- ②レコード/ストップをON。
- ③演奏スタート。
- ④演奏がおわったら、もう一度レコード/ストップをON。これで録音はおしまい。
- ⑤プレイバック/ストップを押せば録音したメロディーがでてくるヨ。

自動演奏を聴こう



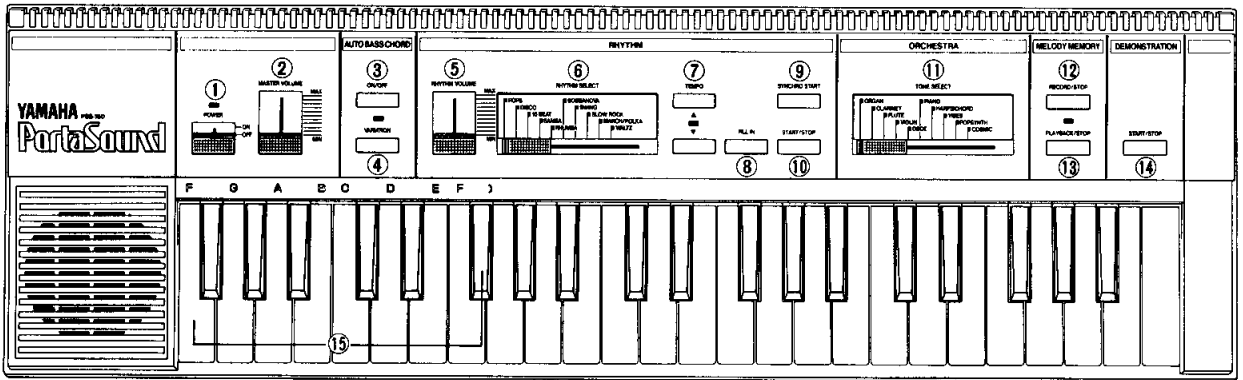
このボタンを押せば自動的に「草競馬」のミュージック・スタート! 止めたいときは、もう一度ON。



例えばCコードだったらCの鍵盤、FコードだったらFの鍵盤を1コだけ押さえばよい。このところにあるアルファベットを参考に。くわしくは6~9ページをみてネ。

ポータサウンド一覽

ポータサウンドのボタンやレバーの名まえと、そのはたらき。



全体のコントロール(4ページ)

①パワースイッチ/パイロットランプ

電源を入れるスイッチ。電気が通じればパイロットランプが点灯。

②マスターボリューム

全体の音量を調節するレバー。

オートベースコード(6~9ページ)

③オートベースコードON/OFFスイッチ

自動伴奏で演奏をするときに押すボタン。

④バリエーション

自動伴奏のパターンを変えるボタン。

リズム(5ページ)

⑤リズムボリューム

リズムの音量を調節するレバー。

⑥リズムセレクト

リズムの種類を選ぶレバー。

⑦テンポコントロール/テンポランプ

リズムのテンポを調節するボタン。▲を押せば速く、▼を押せば遅くなる。テンポランプは、リズムが鳴っているとき小節ごとに点灯するテンポ確認用ランプ。

⑧フィルイン

リズムが鳴っているとき、このボタンを押すとリズムが一時的に変化する。

⑨シンクロスタート

このボタンを押すとリズムスタンバイとなり、オートベースコード用鍵盤を押せばリズムがスタート。

⑩スタート/ストップ

リズムをスタートさせるボタン。もう一度押せばストップする。

オーケストラ(4ページ)

⑪トーンセレクト

音色の種類を選ぶレバー。

メモリーメモリー(10~11ページ)

⑫レコード/ストップ

演奏を録音するときと、録音が終了したときに押すボタン。

⑬プレイバック/ストップ

録音した演奏を再生するときを押すボタン。

デモンストレーション

⑭スタート/ストップ

このボタンを押すと「草競馬」(フォスター作曲)が自動的にいろいろな音色やリズムで演奏される。もう一度押せば止まる。

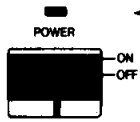
⑮オートベースコード用鍵盤

自動伴奏をするときに押さえる、伴奏用の鍵盤。

オーケストラ

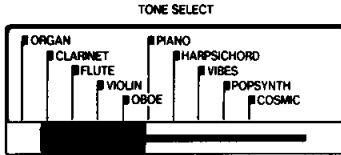
音色は10種類。まずはクラリネットで「ハッピーバースデートゥー」にトライ!

1 パワースイッチをON。



← パイロットランプが点灯したら
電気が通じたサインです。

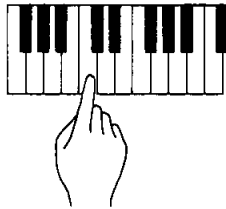
2 トーンセレクトのレバーで音色をひとつ選びます。



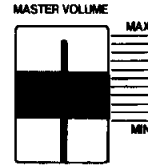
ここでは、クラリネットにしてみよう。カチツというまで、きちんとレバーを動かして。

3 鍵盤を押さえてみよう。

クラリネットの音はいかが?



4 マスターボリュームをまん中に。



レバーを上げれば音が大きくなります。鍵盤を押さえて音を聞きながら調節しよう。

● 準備OK? それではプレイスタート!

NOTE:

- ★いくつかの鍵盤を同時に押さえたときは、4音まで鳴ります。先に押さえた音が優先。
- ★オートベースコードのスイッチがONになっていると、メロディー演奏は同時に2音までしか鳴りません。

ハッピーバースデートゥー

作詞 P.S.HILL
作曲 M.J.HILL

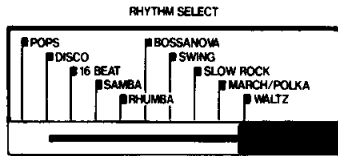
ハッ ビー バース デー トゥ ユー ハッ ビー バース デー トゥ ユー ハッ ビー

バース デー ティア (○○ ちゃん) ハッ ビー バース デー トゥ ユー

リズム

リズム・バラエティーは10種類。こんどはリズムをつけて「ハッピーバースデーチュー」を。うまくノッて演奏しよう。

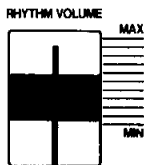
1 リズムセレクトのレバーで、リズムをひとつ選びます。



ワルツは3拍子、そのほかのリズムは4拍子。カチッというまで、きちんとレバーを動かそう。

「ハッピーバースデーチュー」はワルツにセット。

2 リズムボリュームのレバーをまんなかに。



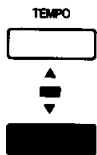
リズムボリュームのレバーが最小(MIN)になっていると、リズムの音は鳴りません。

3 リズムのスタート/ストップのボタンをON。



ワルツのリズムがズン・チャッ・チャッと鳴りだしたでしょ？

4 テンポコントロールでテンポを調節。



← ● テンポランプ
小節のアタマで点灯する、テンポの確認に便利なランプ

鳴っているリズムの音をききながらメロディーを思いうかべて調節しよう。テンポを速くしたいときは▲、遅くしたいときは▼をON。▲と▼を同時に押すと元のテンポにもどります。(J = 114)
「ハッピーバースデーチュー」は▼を3回ON。

★テンポは15段階に変えられます。パワーをONしたときから、▲を7回押したときがいちばん速く▼を8回押したときがいちばん遅い。それ以上押してもテンポは変化ナシ。

5 リズムにあわせてメロディーを。

1・2・3と頭のなかでリズムを数えて弾こう。出だしがちよっと難しいかも…1・2はお休み、3でハッピーと入ります。

リズムとメロディーの音がバランス悪いな、と思ったらマスターボリュームとリズムボリュームのレバーで調節しよう。

6 リズムをストップするには、

もう一度リズムのスタート/ストップをON。

START/STOP



やっぱり、出だしがイマイチ…かな？そこで——

うまく出だしをキめるには

7 シンクロスタートのボタンをON。

SYNCHRO START



リズムスタンバイの状態。リズムは鳴らないでテンポランプが1拍ごとに点灯し、演奏が始まるのを待っています。

8 プレイスタート！

「ハッピーバースデー」のバースデーのところ、左手で鍵盤を押さえたときにリズムが鳴りだしたでしょう？つまり、シンクロスタートというのはオートベースコード用鍵盤を押さえると同時にリズムを1拍目からスタートさせるボタンなのです。

★シンクロスタートは曲の途中で押せばブレイクとしても使える便利モノ。

オカズを入れてプレイを華麗に！

9 フィルインをチョンと押してみよう。

FILL IN



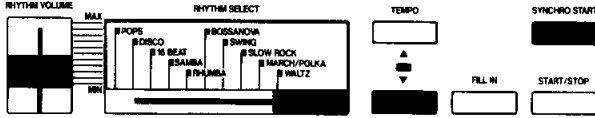
リズムが鳴っているときフィルインを押すと、その小節だけがカッコイイリズムになります。曲が盛り上がるころ(俗にサビという)の前とか、フィーリングで使おう！

ここでは、エンディングをカッコよくキメてみよう。右手でドを弾いたら音をのばさず(1拍分だけで)フィルインをON。

オートベースコード(自動伴奏)

こんどは、もっとカッコよくベースとコードの伴奏で「ハッピーバースデートゥー」を。といっても、伴奏オタスケ機能のオートベースコードを使えば、ただ指1本で鍵盤を押さえるだけ。あとは自動的にポータサウンドがやってくれます。

1 リズムの準備はいいかな?

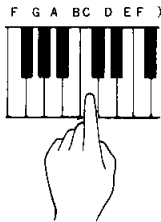


リズムセレクトをワルツにして、テンポコントロールの▼を3回ON。シンクロスタートもON。

2 オートベースコードON/OFFスイッチをON。

スイッチの下のランプが点灯します。

3 オートベースコード用鍵盤を指1本で押さえてみよう。



リズムによってコード(和音)とベースの伴奏が鳴りだします。メロディーのクラリネットの音をだしながら、マスターボリュームとリズムボリュームのレバーを調節して、メロディーと伴奏の音の大きさをバランスよく整えよう。

4 一度リズムをストップ。

準備OK! それでは、弾いてみよう

5 シンクロスタートをON。

「ハッピーバースデートゥー」の出だしは、「ハッピー」が右手だけ。そして「バースデー〜」のところで、左手でオートベースコード用鍵盤のC(D)を押さえて自動伴奏をスタート。

伴奏のパターンを変えるときは

6 バリエーションをON。

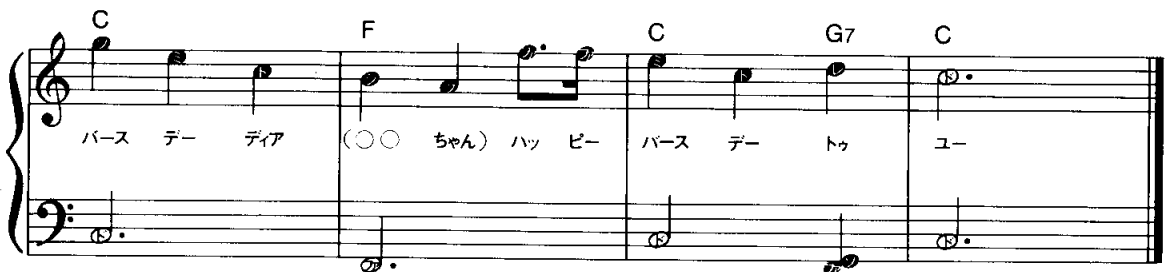
バリエーションを押すとベースのパターンが変わります。つまり、ひとつのリズムに対して伴奏パターンが2つずつ、合計20の伴奏バリエーションがあるワケです。

NOTE:

- ★自動伴奏は鍵盤から指を離れたあとも同じようくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押さえないでOK。
- ★コードを変えるとき、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離してからつぎのコードの鍵盤を押さえるようにしましょう。
- ★オートベースコードの音色はオーケストラで選んだ音色と関係ありません。
- ★オートベースコードを使っているとき、メロディー演奏は同時に2音しか鳴らせません。

ハッピーバースデートゥー

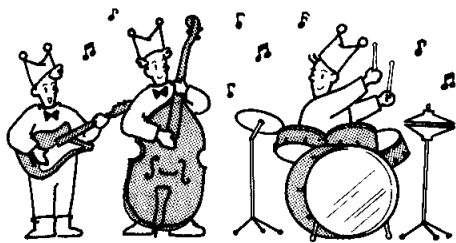
作詞 P.S.HILL
作曲 M.J.HILL



オートベースコードを使いこなそう。

● どうしてオートベースコードを使うといいの？

1. メロディーに伴奏をつけると、音楽らしくなるでしょ。その伴奏は「リズム」「コード」「ベース」が基本。本物のバンドだと3人でやっているのだけど、これをみんなまとめてメンドウみちやうのがオートリズム & オートベースコードなのデス。



2. まず、最初を選ぶのがリズム。ドラムやシンバルでドンチャチャとやってるアレです。音楽のスタイルによってボサノバとかスイングとかの種類があるんだけど、それをリズムセレクトのレバーで選ぶのネ。弾きたい曲をよーく聴いていちばん似てるのをみつけよう。



3. コードとベースはどうしたらいいの？というわけで登場するのがオートベースコード。その名のとおり「自動的にベースとコードを奏でる」しだけ。それもリズムにのって、つまり、なんのコードかの指示さえすれば、3人分の伴奏を受け持ってくれるワケ。だから、あとはメロディーを弾くだけでワンマンバンドのできあがり。



4. それでは「なんのコードか指示する」ってどういうこと？、というモチロン楽譜をみて。五線譜の上にCとかFmとかアルファベットが書いてあるでしょ。これがコード。つまりコードの種類に名前がつけてあるワケ。ギターを少しカジッたことのある人なら、もうおなじみのハズ。これをたよりにすればいいのデス。

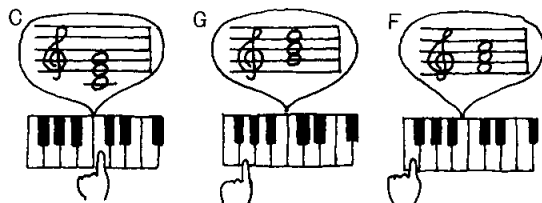


● なんでコードはアルファベットなんだ？

1. ドレミファソラシって何語か知ってる？ じつはイタリア語デス。これを英語では C D E F G A B というのだ。コードはこの英語読みを使って和音を記号にしたもの。たとえばドミソはドを代表させてCコードというように。そこで、まずはこの英語読みをマスター。



2. Cコードはドミソのことすると、あとのDEFGABはどんな和音でしょう？というわけでとりあえず基本コードのFとGをおぼえよう。ただしオートベースコードはかしこいので、CコードだったらCの鍵盤さえ押さえれば、自動的にドミソを弾いてくれるのデス。

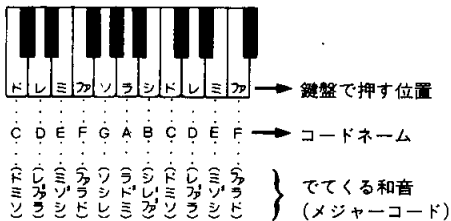


オートベースコードのまとめ

オートベースコードを使ってだせるコードは、アルファベット1文字の「メジャーコード」、小さなmのついた「マイナーコード」、小さな7のついた「セブンスコード」、そしてmと7の両方がついた「マイナーセブンスコード」の4種類です。ちょっとしたキマリを覚えてしまえばカンタンなこと。ガンバロー！

●メジャーコードについて

まずは基本中の基本、メジャーコードの鍵盤の位置を覚えてしまおう。オートベースコード用鍵盤を押す位置とてくる和音の関係は、次のとおり。



●#、bのついているコードをだすには

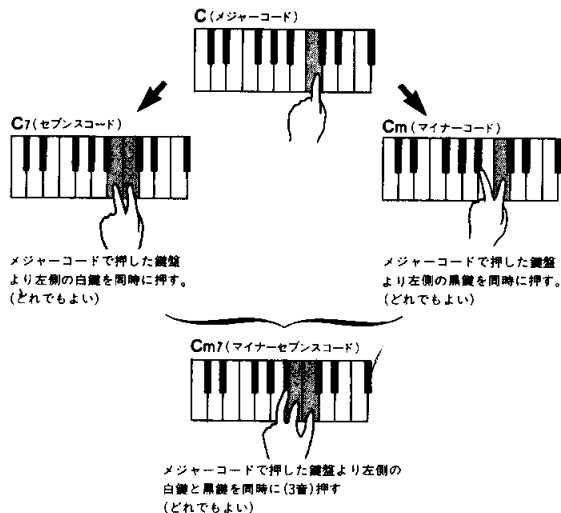
メジャーコードのなかには、# (シャープ) や b (フラット) のついているものもあります。この # や b は、音符についている場合と同じように「半音上げる (#)」「半音下げる (b)」という記号です。



上の図のように、# がついていたら右上の黒鍵、b がついていたら左上の黒鍵を押せば #・b のコードはOK。

●小さなmや7のついたコードをだすには

[Am] のようなマイナーコードや [G7] のようなセブンスコードは、下の図のように2つの鍵盤を同時に押さえることでだすことができます。さらに [Dm7] のようなマイナーセブンスコードは3つの鍵盤を同時に押さえます。ここまでマスターすればオートベースコード自由自在！



オートベースコード操作の流れ

メモリー部分のセット

オーケストラ

- トーンセレクトで音色を選ぶ

TONE SELECT

伴奏部分のセット

オートベースコード

- オートベースコード ON/OFF スイッチをON
- 必要ならバリエーションをON

ON/OFF

VARIAION

リズム

- リズムセレクトでリズムを選ぶ
- テンポコントロールの調節
- リズムボリュームの調節
- シンクロスタート、またはスタートをON

SYNCHRO START

START/STOP

Let's Play





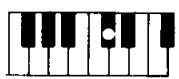











































オートベースコード早見表

メジャーコード

マイナーコード

セブンスコード

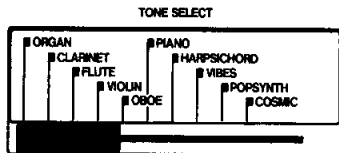
マイナーセブンスコード

C		Cm		C7		Cm7	
D [♯] (C [♯])		D [♯] m (C [♯] m)		D [♯] 7 (C [♯] 7)		D [♯] m7 (C [♯] m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E [♯] (D [♯])		E [♯] m (D [♯] m)		E [♯] 7 (D [♯] 7)		E [♯] m7 (D [♯] m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F [♯] (G [♯])		F [♯] m (G [♯] m)		F [♯] 7 (G [♯] 7)		F [♯] m7 (G [♯] m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A [♯] (G [♯])		A [♯] m (G [♯] m)		A [♯] 7 (G [♯] 7)		A [♯] m7 (G [♯] m7)	
A		Am		A7		Am7	
B [♯] (A [♯])		B [♯] m (A [♯] m)		B [♯] 7 (A [♯] 7)		B [♯] m7 (A [♯] m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

メロディーメモリー

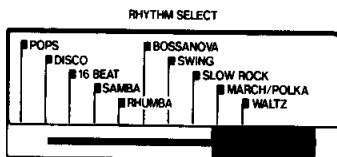
メロディー演奏をそっくり録音してしまうのが、このメロディーメモリー。お気に入りの曲を入れて聴いたり、カラオケにしたり…と楽しみかたはイロイロ。では、さっそく「かえるの合唱」を録音してみよう。

1 トーンセレクトのレバーで音色を選びます。



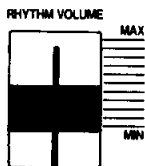
ここでは、オルガンにしよう。

2 リズムセレクトのレバーでリズムを選びます。



「かえるの合唱」は、マーチ/ポルカに。

3 リズムボリュームをまんなかくらいに。



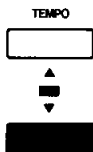
ボリュームはあとで再生させるときに変えられます。

4 メロディーメモリーのレコード/ストップをON。



レコード/ストップのボタンの下のランプが点滅。録音スタンバイを知らせます。

5 テンポを調節。



録音スタンバイになると、テンポランプも1拍ごとに点滅してリズムのテンポをあらわします。そこで、このランプをみながら▲、▼のボタンを押してテンポを調節。「かえるの合唱」には、▼を3回。

6 演奏スタート。自動的に録音もスタート!

録音している間、ランプが赤く点灯します。

7 演奏がおわったら、もう一度レコード/ストップをON。



これで録音はOK!

聴いてみよう

8 プレイバック/ストップをON。



「かえるの合唱」が自動演奏されたでしょ?

録音した分がおわれば自動的にストップ。

NOTE:

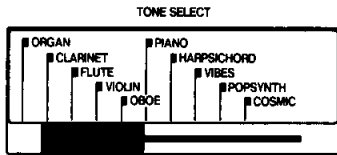
- ★2つ以上の鍵盤を同時に押さえても、1音しか録音されません。
- ★16分音符の単位まで録音されます。それ以上短い音符は入りません。また3連符も録音できません。
- ★録音の容量は70音符です。
- ★もう1度録音すると、前に録音した曲は自動的に消去されます。また、パワースイッチを切ると録音した曲は消去されます。

聴いてみよう・バリエーション

さて、自動演奏にあわせてナニをする？

- 違う音色でメロディーやハーモニーをかさねて弾く
(ここでは輪唱ふうにしてみよう)

1 トーンセレクトのレバーで音色を選ぶ。
ここではピアノにしよう。



2 プレイバック/ストップをON。



3 「かえるのうたが～」まで演奏を聴いたら、鍵盤で同じように
「ドレミファミレド～」と弾く。

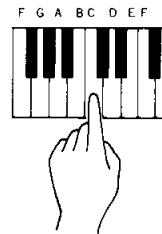
- オートベースコードで伴奏をつけよう

1 オートベースコード ON/OFF スイッチをON。
好みにバリエーションもON。



2 オートベースコード用鍵盤を押さえながら
プレイバック/ストップをON。

ここでは、オートベースコード用鍵盤のCを押さえてプレイバック/ストップのボタンをONしよう。
こうすれば出だしからバッチリ伴奏入りに。



かえるの合唱

訳詞 岡本敏明
ドイツ民謡

C

か え る の う た が き こ え て く る よ

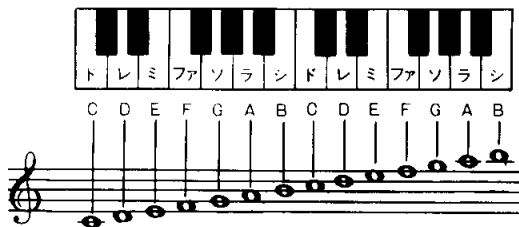
G7 C

クワッ クワッ クワッ クワッ ケ ケ ケ ケ ケ ケ ケ ケ クワッ クワッ クワッ

楽譜の読みかた

★五線譜の読み方は

はじめに、鍵盤と五線譜の関係を示してみると……



★音符と休符の長さは

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全音符	4つ分のばす	全休符	4つ分休む
付点2分音符	3つ分のばす	付点2分休符	3つ分休む
2分音符	2つ分のばす	2分休符	2つ分休む
4分音符		4分休符	
8分音符	半分にする	8分休符	半分休む
16分音符	4等分する	16分休符	4等分する
3連音符 (3連符)	3等分する		

($\overset{3}{\curvearrowright}$ は ♪ を 3 等分)

★記号を覚えましょう。

記号と読み方	意味	記号とよみ方	意味
# シャープ	半音あげる	: : リピート	くりかえし
b フラット	半音さげる	1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあとへ
♮ ナチュラル	#, b のついていた音をもとの音にもどす	D.C. ダカーホ	最初からくりかえし、Fine でおわり
$\overset{\curvearrowright}{\text{♪}}$ タイ	音をつなげる (この場合、同じになる)	D.S. タルセーニョ	記号からくりかえし、Fine でおわり
— スラー	なめらかに弾く	♯ Coda コーダ	to ♯ までくりかえしたあと ♯ Coda へ
∩ フェルマータ	その音をながくのばす		
Tacet タセット	伴奏を休む		
Fine フィーネ	おわり		

故障と誤りやすい現象

故障した!と思う前にちょっとお確かめください。

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが暗い。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
トーンセレクトで選んだ音色とは、別の音色がでる。	オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤で弾いている。	オートベースコードを使っているときにてくる自動伴奏の音色は、トーンセレクトで選んだ音色とは関係ありません。
鍵盤を同時に5音押さえても4音しかでない。また、オートベースコードを使っているとき、鍵盤を同時に3音押さえても2音しかでない。	音色は同時に4音までしかでないようになっています。また、オートベースコードを使っているときは2音しかでません。	先に押さえた音が優先します。
リズムの音がでない。	①シンクロススタート、もしくはスタートのボタンが押されていない。 ②シンクロススタートのボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押していない。 ③リズムボリュームが最小の位置にある。	①②③5ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセレクトで選んだリズムとは別のリズムがでる。	フィルインが押されている。	フィルインを押すとリズムは変化パターンに切りかわります。
オートベースコードの音がでない。	①オートベースコードON/OFFスイッチが押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤を押さえていない。 ③リズムがセットされていない。	①②③6~8ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤からいったん指を離さずに弾いているため。	コードを変えるときは、いちど鍵盤から指を離すようにしてください。
メロディーメモリーで録音したと通りに再生されない。	①メロディーメモリーで録音できるのは、単音のみ。和音演奏の録音はできません。 ②16分音符の単位まで録音できます。 ③3連符は録音できません。	①②③10~11ページの説明をお読みください。
何もしないのに音がでる。	パワースイッチがONのまま放置すると、約2分おきに警告音が鳴ります。	長時間、使用しないときはパワースイッチを切ってください。

仕様

●鍵盤

ミニ鍵盤44鍵 (F1-C5)

●オーケストラ

トーンセレクト

(音色—10種類)

オルガン

クラリネット

フルート

バイオリン

オーボエ

ピアノ

ハープシコード

バイブ

ポップシンセ

コズミック

●リズム

リズムセレクト

(リズム—10種類)

ポップス

ディスコ

16ビート

サンバ

ルンバ

ボサノバ

スイング

スローロック

マーチ/ポルカ

ワルツ

(リズムコントロール)

シンクロスタートスイッチ

スタート/ストップスイッチ

テンポコントロールスイッチ

(テンポ調節15段階)

ボタン	回数	テンポ (J=)
▼	8	40
	7	50
	6	60
	5	70
	4	80
	3	90
	2	100
	1	107
電源ON時		114
▲	1	124
	2	134
	3	146
	4	160
	5	178
	6	200
	7	230

テンポランプ

リズムボリューム

フィルインスイッチ

●オートベースコード

オートベースコード ON/OFF スイッチ

バリエーションスイッチ

●メロディーメモリー

レコード/ストップスイッチ

プレイバック/ストップスイッチ

レコードランプ

(録音容量:最大70音符)

●デモンストレーション

スタート/ストップスイッチ

(草競馬:フォスター作曲)

●その他のコントロール

パワー ON/OFF スイッチ

パイロットランプ

マスターボリューム

●メインアンプ

2W (4Ω負荷)

●スピーカー

8cm (4Ω)

●定格電源

DC9V:単2乾電池6個

電源アダプター (PA-1)

●消費電力

電源アダプター (PA-1) 使用時:4.0W

電池使用時:1.5W

電池寿命:通常演奏で連続25時間以上

●付属端子

PHONES/AUX OUT JACK

DC9-12V IN JACK

●寸法・外装

本体材質:スチロール樹脂

間口:629mm

奥行:191mm

高さ:54mm

重量:1.8kg (乾電池重量含まず)

●付属品

単2乾電池6個

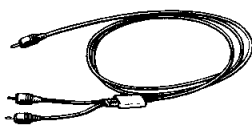
●オプション(別売付属品)

ヘッドホン [HPE-3] ¥3,000



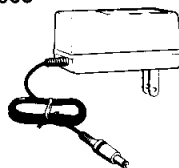
接続コード [PC-2]

¥1,000



電源アダプター [PA-1]

¥2,000



専用ソフトケース [SCC-14]

¥2,300

*この他にヘッドホン[HPE-5/¥5,500]もあります。

シングルキーボード 〒430 浜松市中沢町10-1
事業部 TEL.0534(60)3275
東京営業所 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL.03(572)3111
大阪営業所 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館
TEL.06(252)7491
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5145
九州営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2152
北海道営業所 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL.011(512)6113
仙台営業所 〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル
TEL.0222(22)6141
広島営業所 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3744

